

関西大学総合情報学部 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム

2023 年度 自己点検・評価報告書

【実施：関西大学総合情報学部 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム運営委員会】

1. 自己点検・評価の実施

「関西大学総合情報学部 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」について 2022 年度より、応用基礎レベルとして実施している。2023 年度は本プログラムの 2 年度目である。

総合情報学部 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム委員会は、2023 年度の履修状況を参考に、授業運営上の工夫などについて意見交換を行い、自己点検・評価を実施した。

2. 評価の基準について

下記の 3 段階で評価する。

- A: 取り組みの内容に特筆すべき点があり、十分に実施できている
- B: 問題なく運営されている
- C: 取り組みの内容について改善の必要がみとめられる

3. 自己点検・評価の結果について

今年度の履修状況などを確認し、委員による意見交換の結果、下記の評価に至った。

【評価結果】 A: 取り組みの内容に特筆すべき点があり、十分に実施できている

本プログラムは、以下の科目群で構成される。

- ・情報と倫理
- ・情報処理
- ・コンピュータの言語
- ・コンピュータネットワークの基礎

- ・ データサイエンスの基礎
- ・ 情報システムの基礎
- ・ ソフトウェア実習

本プログラムの修了は、上記全科目の単位取得が要件となる。また、上記の全科目群は 2022 年度以降に入学した総合情報学部生の必修科目、すなわち卒業要件となる科目となっている。そのため彼らが卒業する際は、プログラムを修了していることとなっている。2021 年度以前の入学生も上記科目を全て修得することでプログラムの修了が可能である。

次表に履修者数と合格率について記す。

	履修者数	単位取得者数	単位取得率
情報と倫理	641	516	80%
情報処理	574	502	87%
コンピュータの言語	778	571	73%
コンピュータネットワークの基礎	679	557	82%
データサイエンスの基礎	595	551	93%
情報システムの基礎	667	552	83%
ソフトウェア実習	545	506	93%

全ての科目で入学定員である 500 名を超える履修者がいる。また、単位取得率が 73%から 93%となっており、必修科目とはいえ単位取得・本プログラムの修了が容易でないことが明らかとなっている。ただし、コンピュータの言語については昨年度よりも低い単位取得率となっている。この数字は、前年度の自己点検・評価報告書に記載した通り、授業内容の見直しを含む結果であり、プログラム運営に支障はきたしていない。

特筆すべき取り組みとしては、昨今の生成 AI に対する教育の開始が挙げられる。2023 年度より情報と倫理、およびデータサイエンスの基礎において、深層学習のニューラルネットワーク構造の講義、及び生成 AI の利用課題、利用にあたっての問題点を講義内容に追加している。

4. 改善・進化に向けた対応について

授業内容の見直しは、教務委員会、C導入教育連絡会議、ソフトウェア実習担当者議会を通じて毎年行われている。これにより、教育内容の硬直化を防ぐとともに、移り変わりの激しい情報技術を適切に取り込むための努力が払われている。

2025 年度からは、新しい高等学校学習指導要領に基づき、「情報Ⅰ」を学習した生徒が入学してくる。そのため本プログラムを履修する学生の前提知識の変化が予想されている。この変化を踏まえた授業内容変更の取り組みをC導入教育連絡会議、ソフトウェア実習担当者会議において開始している。